

# 森林環境税活用事業報告③

高知北高校では、「総合的な探究の時間」の 私たちと環境 グループが、「森林環境税活用事業」を活用して、自然環境について考える様々な活動を行っています。

「森林環境税活用事業」とは、高知県の取組の1つです。高知県は、県民みんなの負担で森づくりを進めるため、平成15年に全国に先駆けて森林環境税を導入しました。この税を使って森林環境学習への支援も行われており、それを高知北高校でも活用しています。

その内容について紹介していきます。

## 1月12日(金)「木工作品づくり」

今回は「木に親しむ」ことを目的として、何回かに分けて取り組んでいた刻字作品の仕上げを行いました。

ヒノキ材から板を切り出し、思い思いに書を彫刻刀で彫っていきます。書道室で先生と相談しながらお気に入りの書を紙に書きます。彫りたい字が決まったら、彫刻刀でヒノキ板に写して彫っていきます。墨や檜の香りに包まれ、心地よい集中の時間でした。ヤスリをかけたり、色付けもしました。

生徒たちからは、「丸いところを彫るのが大変でサンドペーパーは簡単だった。」「彫刻刀の種類を変えたり作品の角度を変えたりしたら彫りやすかった。サンドペーパーで削ったら滑らかになって色もきれいに塗れることを知った。」「書道が苦手で上手く書けなかったけど何とか書いて良かった。硬筆とか鉛筆で書くのは上手く書けるけど書道などの筆やボールペンは苦手で上手く書けないことに気付きました。」などの感想がありました。この授業で書や木工の楽しさに触れるとともに、森を大切にすることで豊かな資源も作り出していることを考えていってもらいたいです。

